

緑陰通信

News from the shade of trees

※緑陰通信は県立図書館のホームページ (<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>) からご覧いただけます。

目次

■ 県文化講座「シン・若山牧水」	P1
■ 牧水生誕140年記念 特別展「若山牧水」～歌人「牧水」の誕生～	P1
■ 読書の歴史を感じてみませんか？	P2
■ 令和7年度第2回「緑陰コンサート」開催	P3
■ 「読書県みやざき」×「宮崎だいすきポケモン」ナッシーを活用した読書振興の取組	P3
■ ひなた電子図書館(ひなデジ)電子書籍サービスについて	P4
■ 伊藤一彦名誉館長が宮崎県民栄誉賞を受賞	P5
■ 県立図書館の本お取り寄せサービスについて	P5
■ 目指せ日本一の図書館！－文士館長中村地平の取組－	P6
■ 『緑陰通信』は創刊75周年	P6
■ 県立図書館からのお知らせ	P6

開催レポート

県文化講座「シン・若山牧水」

第3回宮崎県文化講座(11月22日(土)開催)では、伊藤一彦氏(歌人・牧水研究家、当館名誉館長)をお迎えし、「シン・若山牧水」～牧水の新たな魅力～と題して講演をしていただきました。伊藤氏は、昨年、若山牧水生誕140年ということで、生誕の地である日向市東郷町坪谷をはじめ、終焉の地となった沼津市(静岡県)、牧水とゆかりのある今治市(愛媛県)などでも牧水に関する講演活動を精力的に行ってこられました。

伊藤氏が今回の講座で話をされたのが、「牧水の歌は「幾山河…」「白鳥は…」といった有名な秀歌はあるが、いずれも20代の若さで詠んだものばかりで、他にもまだ見過ごされている優れた歌がたくさんある」ということです。

牧水は43歳の若さで亡くなるまで歌を詠み続け、生涯で約9000首の作品を遺しています。昨年7月に『若山牧水全歌集』(角川文化振興財団)を編集・出版された伊藤氏は、牧水の歌を改めて読み直すと、複雑な現代社会に生きる我々にとって、今こそ必要な発想や思いが数多く詠み込まれていることが分かるといいます。牧水の歌には、意見の異なる人間同士であっても互いに理解し認め合うことの大切さや、`自然、の寛容さにも通じるものがあるとされています。まさに、牧水はそれらを歌に詠み込んで時代を越えて我々現代人に示してくれており、そこが牧水の「新たな魅力」=親和力(親しみ)であることを県民のみなさまに知ってほしいと語られました。



牧水生誕140年記念 特別展「若山牧水」 ～歌人「牧水」の誕生～

若山牧水(1885～1928年)は第3歌集『別離』により歌人として世間に広く知られるようになりましたが、それ以前にどんな幼少期や青年期を過ごしたことで、今でも作品が多くの人に親しまれる国民的歌手となったのでしょうか。そのことについて、牧水自身が書き遺したエッセイや書簡等から考察し、牧水の誕生秘話や歌人としての`牧水、誕生に影響を与えた親族・教師・友人等の話も交えながら、直筆の書簡・写真等も含め関係資料

96点を展示しました。

また、当館所蔵の「小林邦雄コレクション」の中から牧水直筆の遺墨(短冊、色紙、掛け軸)の展示も行い、その丸みを帯びて読みやすい、牧水独特の筆致を県民のみなさまに鑑賞していただきました。



読書の歴史を感じてみませんか？

秋の読書週間企画展「昭和100年、読書の100年」

期間：令和7年10月21日(火)～11月9日(日)

展示

2025年は昭和100年に当たることから、その100年を、本や出版業界、情報収集方法といった観点から振り返り、年表や関連書籍などを展示しました。また、『本・新聞のこれから』と題し、地元出版社・新聞社へのインタビューをまとめた展示も行いました。ご覧になった方からは、「本の歴史を知ることができて面白かったです。」「出版に関わる人たちのことが印象に残りました。」などの感想をいただきました。

また、参加型のコーナー『あなたの読書スタイルは？紙の本と電子の本』では、それぞれの良いと思うところを募集。「紙の本の手触りや匂いで、落ち着いた気持ちで読書ができる。」「古本の書き込みを見るのが好き。」「電子書籍は文字の大きさが変えられて便利。」「電子書籍は持ち運びがラクで、外出先で読みやすい。」などの意見が集まりました。



イベント

期間中は3つのイベントも開催しました。持参した本にフィルムでコートをかける『本のカバーかけ体験』では、「思い出が詰まった本を、心を込めてつつむことができ嬉しかったです。」などの感想をいただきました。当イベントを通して、今後も本を大切にしていきたいです。

オススメの本を持ち寄って紹介し合う『本友のススメ』では、「読書が好きな人と知り合うことができ嬉しかったです。」などの感想をいただきました。読後の感想や、その本に対する思いなどを話すことで、本を読む喜びを分かち合い、より読書意欲が高まったのではないのでしょうか。

県立図書館の電子書籍サービス「ひなデジ」の体験会に参加された方からは「ひなデジの存在は知っていましたが、使い方が分からずに利用していませんでした。これから利用したいです。」などの感想をいただきました。ひなデジは、文字の拡大や読み上げ機能がある資料もあり、どなたでも読書を楽しむことができますようになっています。利用方法やログイン方法など、ご不明な点がございましたらいつでもご相談をお受けしています。お気軽に職員までお声がけください。

展示やイベントを通して、読書を楽しみ、図書館をより身近に感じていただくことができたのではないのでしょうか。これを機に、ぜひ今後とも図書館をご利用ください。



本のカバーかけ体験



本友のススメ



令和7年度 第2回「緑陰コンサート」開催

令和7年11月1日(土)

県立図書館では、県民のみなさまに多様な音楽や文化に親しんでいただく機会として、年に2回「緑陰コンサート」を開催しています。

今年度第2回目を、11月1日(土)に開催し、宮崎市近郊で活動されている「ひむかSoundCLUB」よりサクソアンサンブルの4名様と、「おんがくとえほんのおくりものO-live」のお二人をお招きし、多彩なプログラムでお届けしました。

第1部は、「ひむかSoundCLUB」による生演奏。「ジブリメドレー」や「めざせポケモンマスター」といった親しみやすい楽曲に、お子さまだけでなく保護者の方も体を揺らしながら一緒に口ずさみ、会場全体で音楽を楽しむ様子が印象的でした。

続く第2部では、「おんがくとえほんのおくりものO-live」のお二人が、絵本の読み聞かせに生演奏を織り交ぜたスペシャルステージを披露。音楽や絵本の内容に合わせて、会場のみなさまが共に体を動かしたり手をたたいたりしながら、物語の世界を満喫しました。

そして第3部は、再び「ひむかSoundCLUB」の登場。第1部の子ども向け楽曲とは趣を変え、「かもめが翔んだ日」や「愛燦燦」など、昭和の名曲を含む大人向けの楽曲が披露され、会場は心地よい音色に包まれました。

秋の爽やかな気候の中、木漏れ日が降り注ぐ屋外で、参加者のみなさまには生演奏と絵本の豊かな世界を心ゆくまでお楽しみいただきました。「読み聞かせと音楽の組み合わせがとても素敵でした。生演奏を間近で聴けて感動しました。」「親子で心から楽しめました。何よりも子どもの生き生きとした表情を見ることができ、大変有意義な時間となりました。」といった嬉しいお声を多数いただき、コンサートは大盛況のうちに無事閉幕しました。

ご来場いただきましたみなさま、誠にありがとうございました。



「読書県みやざき」×「宮崎だいすきポケモン」ナッシーを活用した読書振興の取組

連携機関：県生涯学習課、県観光推進課、株式会社ポケモン

本県と株式会社ポケモンとの「地域活性化に関する連携・協力協定」事業の一環で、ポケットモンスターのキャラクターであり「宮崎だいすきポケモン」として親しまれている「ナッシー」の人気や知名度を活用した読書活動推進キャンペーンを昨年度から実施しております。今年度は昨年度の14を上回る35の公立図書館(室)で実施しました。



秋の読書週間にちなみ、令和7年10月～11月の期間中、希望する利用者に対してスタンプカードを配付の上、本を借りた回数に応じてスタンプを押し、その数によってナッシーがデザインされたオリジナルしおりを贈呈する取組です。10月1日の開始初日には、新富町図書館、川南町立図書館、都農町民図書館の各職員が、河野知事を表敬訪問し、キャンペーンの開催を報告して、読書推進をアピールできました。



© Pokémon. © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの商標です。



ひなた電子図書館 (ひなデジ) 電子書籍サービスについて

当館の貸出利用券をお持ちの方なら、スマートフォンやタブレット端末、パソコンからいつでもどこでも電子書籍を読むことができます。また、文字の拡大機能や音声読み上げ機能など、電子書籍ならではの読書サポート機能を備えた書籍やオーディオブックもありますので、障がいをお持ちの方やご高齢の方などにもより便利に読書を楽しんでいただけます。

なお、利用料は無料ですが、インターネット通信費は利用者負担になりますのでご注意ください。

専用タブレット端末の館内貸出を始めました

「ひなた電子図書館」閲覧専用のタブレット端末を閲覧室内及び児童図書室内のご利用に限り貸出いたします。ご利用の際は閲覧室4番カウンターでお申し込みください。

- * 「貸出利用券」の提示、または「タブレット端末利用申込書」にご記入いただくとご利用できます。
- * 1回60分ご利用できます。
- * タブレット端末を故障・破損させた場合は弁償となります。



⚠️ タブレット端末を使用した下記の行為はできません。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ① 閲覧室外及び児童図書室外への持ち出し | ② チャット・掲示板の書き込み・ゲーム |
| ③ メール等の送受信 | ④ 公序良俗に反するウェブサイトへの接続 |
| ⑤ 有料サイトへの接続 | ⑥ ダウンロード及びタブレット端末の改変等 |
| ⑦ USBメモリ等外部記憶媒体の利用 | ⑧ その他図書館が不相当と認める行為 |

ひなた電子図書館では「わたしの推し本」を公開しています！

多くの人に読んでほしい本、ずっとお気に入りの絵本、そんな「わたしの推し本」についてひなた電子図書館上で県民のみなさまへご紹介しております。

次に読む本を探したい方、宮崎県民がどのような本が好きなのか気になる方は、ぜひご覧いただければと思います。

もちろんご応募も募集中です。

下記二次元コードか以下のリンク先よりご応募いただけます。

みなさまの熱い思いの込められた文章をお待ちしております！

<https://ttzk.graffer.jp/pref-miyazaki/smart-apply/surveys/2384035549303230393>

また、令和8年3月3日(火)～8日(日)には、ひなた電子図書館に関する展示を予定していますので、ご興味のある方はぜひ図書館へご来館ください。

こんな本が紹介されています！

資料名	著者名	出版社
かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社
たまごのはなし	しおたにまみこ	ブロンズ新社
アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房
それいけ！方言探偵団	篠崎晃一	平凡社



応募用二次元コード



祝

伊藤一彦名誉館長が宮崎県県民栄誉賞を受賞

若山牧水の研究に尽力するとともに、自身も歌人として短歌の分野を牽引する宮崎県立図書館の伊藤一彦名誉館長。その長年の功績に敬意を表し、宮崎県県民栄誉賞が贈られました。

昨年9月には県庁で授賞式が開かれ、本人の喜びの表情が見られました。今後の活躍も大いに注目されます。

また昨年7月には伊藤氏と東郷町出身の歌人・吉川宏志氏のお二人を講師にお迎えして講演会「牧水の歌を読みなおす」を開催しました。講演会の様子を動画で公開していますので、YouTubeで「牧水の歌を読みなおす」と検索してぜひご覧ください。



YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=ZSuJJVg1Y5I&t=1s>



県立図書館の本お取り寄せサービスについて

県立図書館の本を借りて読んでみたいけど、ちょっと遠い・・・とお考えの方はいらっしゃいませんか。県立図書館まで出かけなくてもお近くの図書館で借りられるサービスがあります。それが「県立図書館の本お取り寄せサービス」です。

県立図書館の本お取り寄せサービス（マイラインサービス）とは、県民のみなさまが、お近くの市町村立図書館・室を通して県立図書館の本を借りることができるサービスです。

お近くの図書館に所蔵のない本で、県立図書館が所蔵する貸出可能な本をお近くの市町村立図書館・室の窓口で受け取ることができます。県立図書館で貸出ができる本はすべてお取り寄せができます。

このサービスを受けるのに県立図書館の利用券は必要ありません。お近くの市町村立図書館・室の貸出利用券があれば大丈夫です。お近くの市町村立図書館・室の窓口で貸出を依頼したら、最短の場合、翌日には依頼された市町村立図書館・室にお届けします。貸出期間は、本を受け取った市町村立図書館・室の貸出期間に準じます。返却は、貸出をされた市町村立図書館・室のカウンターへお持ちください。お取り寄せにかかる費用は無料です。

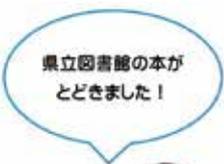
このサービスをご利用いただきますと、お近くの市町村立図書館・室にはない専門書や大型絵本も手軽に借りることができますので、ぜひご検討ください。

詳しい手続きについては、お近くの市町村立図書館・室の窓口にご相談ください。

詳しい手続きについては、お近くの市町村立図書館・室の窓口にご相談ください。



発送作業の様子



お住いの市町村立図書館・室で県立図書館の本を受け取れます。



目指せ日本一の図書館！－文士館長中村地平の取組－

当館第23代館長である中村地平は、芥川賞候補に3回もノミネートされた宮崎出身の作家です。戦後初の民選知事である安中忠雄知事に請われ、昭和22（1947）年5月に県立図書館長に就きました。

当時の日本はアメリカ軍の占領下にあり、全国の図書館では近代化が進められていました。日本一の図書館を作ろうと、地平はカルチャーセンター的な役割を持つアメリカの図書館をモデルに様々な取組みを行いました。図書購入費の増額、本の分類法の日本十進分類法（NDC）への切換、館報『緑陰通信』の創刊、自動車文庫「やまびこ」の運行開始、貸出文庫と農村文庫の設置、文化ホールを含む図書館の増築などです。全てをやり遂げるに10年という歳月がかかりましたが、地平は当時全国でも革新的な図書館を作りあげました。

そして、地平は「公約したことは全部成し遂げた」と述べて、多くの人に惜しまれながら館長を辞め、銀行家という未知の世界へ身を投じたのです。



75th Anniversary 『緑陰通信』は創刊75周年

『緑陰通信』は、中村地平が館長在職時の昭和25（1950）年に創刊し、その年の4月に第1号を発行した館報で、創刊以来75周年を迎えました。

中村地平は、第1号の冒頭で『緑陰通信』の使命に触れ、他の図書館との情報の交換・連絡に加えて、一般向けの読み物にもなるような新鮮でいきいきとした内容を持たせたいと述べています。

旧字体で縦書きされていた創刊時のモノクロの紙面は、いつしか現在のような横書きのカラー版となり、内容も移り変わりましたが、中村地平が記した「初心」を忘れずに、これからもみなさまに役立つ紙面を作り続けたいと考えています。



第100号（昭和48年）は当館創立70周年特集

県立図書館からのお知らせ

図書館システムを更新します（令和8年3月）

当館では図書館システムの更新を行い、3月から新たなシステムを導入します。また、OPAC（資料検索機）・インターネット・データベース用パソコンなど機器の入れ替えも予定しています。

基本のご利用方法はこれまでと変わりませんが、システムの更新に伴い、より便利な機能が追加されます。

例えば…

●おうちで利用者登録ができるようになります

ご来館いただかなくても、宮崎県立図書館ホームページから利用者登録ができるようになります。登録が完了すると、予約やパスワードの再発行などもすべてWeb上で完結できます。

●ホームページをリニューアルします

レスポンスデザインを採用し、パソコンやスマートフォン、タブレットなど、いずれの端末でも見やすい画面表示になります。



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。宮崎県



ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
■児童図書室：9:00～17:00
休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）

特別整理期間のお知らせ

県立図書館では、2月に特別整理期間を定め、連続した休館日を設けています。この期間に図書館システム更新作業を行います。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

特別整理期間 令和8年2月16日（月）～3月2日（月）

編集・発行

●宮崎県立図書館

所在地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）
FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）
HPアドレス ■<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>